

キッチン 人の集まる最上階に置く

パスタの麺打ちもできる、本格的な大理石のカウンター付きキッチンのある家。調理を楽しみつつ、大勢が集まるホームパーティーができるように考えられている。

もっとも悩んだのが子供室の位置で、最終的に最下層に置いた。ご主人の大好きなオーディオも、子どもの就寝などに気を遣うことなく、いつでも楽しむという優先順位の付け方である。現在は、子どもが寝た後でも、大人たちが最上階のLDKでくつろぐ生活を送っている。ライフスタイルの変化に合わせて、家の使い方も変わっていくだろう。



2階LDK。北側からキッチン方向を見る。トップライトが棟を走るLDはテラスに大きく開放される (撮影:小川重雄)

飾り窓となる出窓

道路側へのアクセントにもなっている出窓は、暮らしの気配を外部に伝える

走るトップライト

最上階であることを生かして、上部に一直線にトップライトを設けた。トップライト部分では排気が可能で、夏の熱気を逃がして室内温度を抑える

本格カウンター

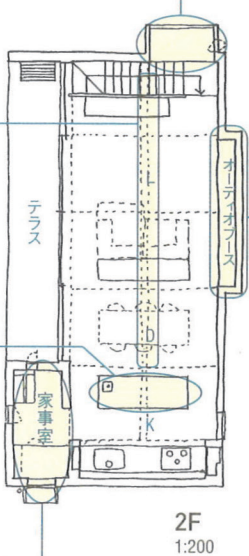
本格的な大理石のキッチンカウンター。このカウンターを囲んで大勢で調理し、ホームパーティーを楽しむ

ユーティリティ

キッチン脇の個室のユーティリティ。家事の合間の作業場であり、キッチン廻りの収納の役目ももつ



玄関のある北側外観 (撮影:小川重雄)



オーディオブース

ご主人の趣味であるオーディオブースも充実。カウンター上にレコードプレイヤーなどが並び、下部は収納とエアコン置き場

もう一つの玄関

道路面の地下階には、ガレージから直接室内に入れるルートを確認

ここにも収納

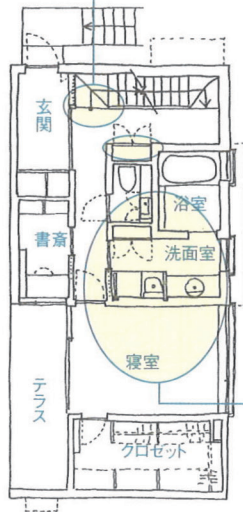
膨大なご主人のコレクションのCDとLPレコードを納めるため、小さなスペースも無駄にせず、奥まで使える収納とする。1階トイレの後ろにもある

入ってすぐの階段

玄関すぐに階段の昇り口がある。来客はプライベート部分を経ず、パブリックな2階へと向かう



玄関ホールと階段 (撮影:小川重雄)



寝室近くの水廻り

主寝室、クロゼット、浴室などの水廻りをコンパクトにまとめて1階に配置

2階の玄関

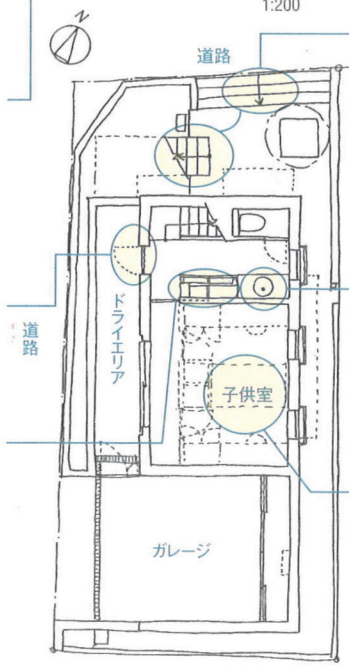
傾斜地のため、階段を昇った実質2階に玄関がある。階段は道路からと、敷地内の2段階に分かれており、気持ちを切り替えながら室内へと導かれる

もう一つの手洗い

地下階のトイレ、洗面所は、子供室から使いやすい設定。ガレージからドライエリアを経て室内に入ったとき、すぐに手が洗える水廻りにもなる

子供室を地下に設定

子供室をどこに置くか、建て主とともに時間をかけて検討し、最終的に道路面の地下に置いた。将来は分割できるよう想定しているが現状ではワンルームで使用



敷地面積/106.33㎡ 延床面積/103.46㎡
設計/矢板建築設計研究所
名称/八雲の家

